

市長に提出した指摘要望事項

5つの分科会審査の結果まとめられた14項目の指摘要望事項を、10月3日に議長から市長に提出し、市政運営に反映させるとともに、反映状況の報告を求めました。

- 1 財政については、** 財政指標が示すとおり厳しい財政状況にあることから、税源の涵養や自主財源の確保を図るとともに、公会計制度による財務諸表を有効活用した財政運営により、財政健全化に努められたい。
- 2 資産経営については、** 中長期的な視点によるマネジメントに努め、資産の質と量の最適化に取り組まれたい。
また、地域コミュニティの拠点となる施設の活用方針の検討にあたっては、市民サービスの低下を招かぬよう意を用いられたい。
- 3 防災対策については、** 市民の防災意識と自主防災組織の組織率の向上を図るとともに、避難所運営委員会については、災害時に効果的に活動できる体制を構築されたい。
また、災害情報共有システムの効果的な活用と市民への周知を図られたい。
- 4 文化・スポーツ振興については、** 都市イメージの向上や活性化にも寄与することから、市民にとって魅力的な文化事業の創出・拡充を図るとともに、スポーツイベントの誘致や障害者スポーツの充実、さらにはトップスポーツとの連携等に戦略的に取り組まれたい。
- 5 生活保護については、** 高齢化の進展や厳しい雇用環境を背景とした受給者の増加が見込まれることから、ケースワーカーの負担軽減に向けた体制整備に取り組むとともに、被保護者の自立推進を図るため、就労促進支援事業のさらなる拡充に努められたい。
また、貧困の連鎖の防止を目指し、生活保護世帯学習支援事業への参加者の拡大に取り組まれたい。
- 6 私立幼稚園については、** 幼児教育において欠かすことのできない機関であるが、保育所に比較して公費負担の少ない状況がみられることから、就園奨励費補助などの助成の拡充により、保護者負担の軽減を図るとともに、園児の教育環境の向上に意を用いられたい。
- 7 再生可能エネルギー導入の推進については、** 市域における利用率を高めるため、既存住宅への普及啓発に努めるとともに、公共施設等への設備導入にあたっては、市民からの出資を活用するなどの先進事例の動向にも注視しつつ積極的な施策展開を図られたい。

- 8 企業立地の促進については、** 将来を見据えた雇用の創出や税源の涵養を図るため、健康・医療・科学等の成長産業に向けた企業立地の方向性を検討し、地域経済の発展や都市イメージの確立に向けた効果的な企業誘致に意を用いられたい。
- 9 交通政策については、** 千葉駅西口再開発ビル「ウェストリオ」のオープンや千葉駅の建てかえを見据え、中心市街地のさらなる活性化を図る必要があることから、関係部局や民間事業者等と連携し、市街地における新たなバス路線の検討を含め、回遊性を一層高める施策などに取り組み、都市力の向上に努められたい。
また、交通不便地域への対応については、引き続き利便性の向上に向けて、適切な支援を講じられたい。
- 10 道路・橋梁の維持管理については、** 今後、既存ストックの老朽化がますます進行することから、本市財政が厳しい中であっても、修繕や耐震化及び長寿命化対策等の予防保全型の取り組みを着実に推進するとともに、点検及び維持管理に携わる職員の育成・確保に努めた上で、各土木事務所のより一層の機能充実を図られたい。
- 11 救急体制整備については、** 救急出動件数が増加傾向にあることを踏まえ、救急救命士の養成や救命講習の拡充に取り組むとともに、医療機関との連携強化による搬送時間の短縮に努め、救命率の向上を図られたい。
また、救急車の適正利用を推進するため、市民への一層の普及啓発に努められたい。
- 12 両市立病院については、** 地域医療への貢献や質の高い医療の提供など、自治体病院としての役割を果たすため、医師や看護師を含めた医療スタッフの確保・定着に努めるとともに、良好な労働環境の維持や研究・研修体制の充実にも意を用いられたい。
- 13 学校校舎等の教育施設については、** 人口急増期に建設した多くの建物が同時期に老朽化を迎えるため、施設の改修などによる教育環境の向上や防災拠点としての安全性の確保に取り組むとともに、中長期的な視点に立った計画に基づき、整備をされたい。
- 14 選挙管理事務については、** 超高齢社会の到来を踏まえ、有権者の利便性を高めるとともに、民間商業施設における期日前投票の拡充などにより投票率の向上に努められたい。

意見表明



10月2日の決算審査特別委員会では、5分科会の審査概要について報告が行われた後、8人の委員が会派を代表して意見表明を行い、採決の結果、各会計決算を原案どおり可決・認定しました。各会派の意見表明の概要は次のとおりです。(通告順に掲載)

未来創造ちば

財政健全化プランに基づく取り組みの推進を評価

自主財源の確保や事務事業の見直しなど財政健全化プランに基づく取り組みを推進した結果、将来負担比率、実質公債費比率改善などが認められ、高齢者・障害者福祉、子育て支援、教育、都市基盤整備や安全安心のまちづくりなどの施策は市民福祉の一層の向上に資するものと認められます。引き続き、財政健全化への取り組みを推進し、将来の千葉市の発展のための施策には十分配慮願います。

日本共産党千葉市議会議員団

住民の福祉を削り、大型開発を推進した決算に反対

2012年度決算は、実質収支が黒字になりましたが、住民の福祉を削り、一方で大型開発を推進しており、住民福祉の向上が基本であるべき地方自治の本旨に反しています。敬老会補助金の削減などに対する不満の声に市長が耳を傾けないこと、職員給与等のカットを行い地域経済にも大幅な影響を与えていること、さらに消費増税による生活悪化を受け止めないことから認定できません。

日本維新の会千葉市議団

財政健全化に向けてわずかながら薄日が感じられる決算であると評価

国民健康保険料徴収率の2.3ポイントの改善、市債残高の104億円の削減、将来負担比率の7.4ポイント改善などを評価します。主な施策面では、高齢者施策での「あんしんケアセンター」の増設や、子育て支援施策での待機児童数の削減を高く評価します。
市民サービスが特定の団体や世代に偏在することなく、市民の自立を側面から支え尊厳を保つ施策に、引き続き取り組まれるよう要望します。

民主党千葉市議会議員団

財政運営をはじめ各種施策を評価 市民サービスの低下を抑えることを要望

平成24年度一般会計決算は、財政健全化への着実な取り組みが結果に表れたものであり、施策面では、防災対策、病院事業、廃棄物対策、教育施策での取り組みを評価します。
今後も将来負担の軽減とともに、慢性的に収支不足が見込まれる財政構造を改善する財政健全化と資産経営を推進していただきながら、必要分野には予算配分し市民サービスの低下を抑えることを要望します。

公明党千葉市議会議員団

活力ある千葉市を築くため、なお一層の努力を

極めて厳しい決算だと捉えていますが、財政健全化に向けての取り組みは着実に進んでいるものと評価します。
また、各施策についても、市民福祉向上への取り組みをはじめ、的確な施策展開がなされており評価するところです。
今後も厳しい財政状況が続くことを踏まえ財政健全化とともに、市民福祉の向上と活力ある千葉市を築くために、なお一層の努力を求めます。

市民ネットワーク

実質収支確保のための財政運営ではあるが、健全化の観点からどうか審査し認定

市債管理基金への償還が予定通り行えず、また退職手当債の発行などで実質収支を確保した決算ですが、財政再建の柱の1つである借金残高の推移は、人口1人あたりに換算すると利子を含め128万円で、5年前の19年度決算の144万円からは、堅実な減少傾向にあります。
個々の施策も現在の社会情勢を反映させた対応がされており評価できると判断しました。市民の声に真摯に対応し市民協働を意識した市政運営を進められるよう求めます。

みんなの党千葉市議団

財政健全化プランへの取り組みを評価

財政健全化への取り組みの結果、予算編成時に見込まれていた112億円の収支不足が解消できた点、また市債残高を縮減し、健全化判断比率が改善した点を評価します。
しかし、依然として市債管理基金からの借入残高が多額であり、財政健全化比率も政令市ワーストの水準であることから、より一層の聖域なき財政改革、行政改革に取り組まれるようお願いいたします。

自由民主党千葉市議会議員団

将来負担の低減に向けた取り組みを評価

財政指標は、市債残高の削減など、実質公債費比率と将来負担比率が減少するなど、将来負担の低減に向けた取り組みが認められます。
施策については、子育て施策をはじめとする各種施策を着実に推進しており評価します。
今後も経済の活性化に取り組んで、税収の確保を図るとともに、財政健全化の取り組みを積極的に進めるよう要望します。